

一步前へ

令和5年6月26日発行

人権作文発表

6月21日(水)学年人権集会を開催しました。意見交換に先立って、各学級の代表として4人が人権作文を発表しました。学級の代表に選ばれてから、担任の先生のアドバイスを受け、何度も読む練習を重ねてきました。発表前は緊張していた様子でしたが、はっきりと、自分の言葉で体験から考えたことや想いを伝えることができました。内容の一部をご紹介します。

2組 さん「言葉」

言葉は人を喜ばせることもあれば、悲しませることもある。私は友達に使う言葉は、うれしくなることがいいと思うが、悲しませてしまう言葉が多い。言葉は一度言ってしまってもとには戻らない。相手を傷つけてしまう言葉を使わないように気を付けていきたい。言葉でも行動でもたくさんの人を笑顔にできるようにしていきたい。

2組 さん「命について」

「いつか終わりが来る命」与えられた命に感謝して大切にしていきたい。
「命はずっとつながっている」戦争などでつながっていくはずの命が断ち切ることが難しい過去があったが、そんな世の中には戻ってほしくない。命を大切につなげていきたい。
「今ここにある命」私は周りの人に恵まれていると思う。出会いに感謝して人とのつながりを大切に生活していきたい。

1組 さん「言葉の力」

「ありがとう」など1秒で相手を幸せにする言葉のことを学習した。しかし、相手を悲しませる言葉もある。言葉のマイナスの部分が強く出るといじめにつながることもある。SNS上の悪口は文字で何度も目にするのでつらい気持ちが大きくなる。差別意識が言葉から出てしまうこともある。気持ちと向き合うことで言葉が変わってくる。自分から変えていきたい。

1組 さん「生きやすさとは」

楽しい記憶より、いやな記憶のほうが意識に残りやすい。ネガティブ思考にならないようにしていきたい。自分は人との距離感をとるのが苦手で、どう接していったらよいか戸惑うことがある。しかし、部活動の後輩とのことで、先生に指導され、まず自分から歩み寄っていくことができた。SNSではなく、現実で、相手の立ち位置に立って考えることをしていきたい。まず、自分から行動していきたい。

学年人権集会意見交換

まず、4人の発表された作文について、感想を発表しました。人権委員から発表をはじめ、全員が自分の感想を話すことができました。また、グループでこれから気を付けていくことを話し合いました。みんな真剣に話し合い、意見を述べることができました。翌日(6月22日(水))には、学年人権集会を受けて、それぞれが考えたことをまとめました。

「学校生活をより明るく、楽しくするために自分にできることは何だろうか。」

- ・暴言や悪口を言わないようにし、相手を傷つけないか1度考えてから口に出そうと思った。そして相手をうれしくさせるような言葉を意識して使っていきたい。
- ・積極的にたくさんの人にプラスの声掛けをしていくことがよいと思う。1つの考え方にとらわれずに新しい見方も受け入れて、ポジティブに考えていくことが大切だと思った。
- ・まずは自分から相手のことを思った発言をしたいです。注意して発言していくことで、みんなが言葉遣いに気をつけるようになり、学校生活が楽しく送れるようになると思います。
- ・今ここにある命、たくさんの人との出会いに感謝して、何事にも一生懸命に取り組もうと思った。相手の気持ちを考え、自分が言われて嫌なことは、言わないということをまず自分から始めていきたいです。
- ・自分の命や周りの人たちの命を大切にすることや友達に言われて嫌なことがあったら、その友達にしっかりと伝えること、プラスの言葉を使うこと、思っていることは積極的に行動していくことが大切だと思った。
- ・自分に言われたのではなくても聞くだけで嫌な気持ちになる言葉を使わないようにしていきたいです。言葉を発する前に言ってよい言葉かなど考えて発言していきたいです。みんなが楽しい学校生活を送れたらいいなと思います。



検査 鴨島東中印